

Go For It !

令和元年11月12日 第32号

福島県立相馬高等学校第3学年

「ファイト」

毎日誰かしらの書類の添削や面接練習を行う。文章や応答が適切かを真剣に確認する様は頼もしく、教えていて楽しさを感じる。短期間にぐんぐん吸収し急成長する。顔つきも引き締まって大人っぽくなってきた。やはり受験はいいなと思う。当事者の間はそう思えないだろうが。

3年生は大きな試練に立ち向かっている。プレッシャーは大きいだろう。私自身受験期に絵を描き続けていて、「良くなるどころか悪くなっている、一向に上達しない。」と感じる時は絶望的な気持ちになったものだ。1階にある美術室から帰り道の廊下は静かで真っ暗だ。渡り廊下から3階にある自教室を見上げると、煌々と明かりがつかっていて、「勉強してる奴らも頑張ってるんだ。」と思えた。そんな風に自身を励ましながら帰宅していた記憶がある。受験が団体戦だと強調されるのはこういう部分だと思う。受験は、方法、難易度、時期など人によって

様々異なるが、一人ひとり当人にとって試練であることは間違いない。戦う同志がいること、また自身の戦う姿が誰かを勇気づける事もあることを覚えていてほしい。

(3-4担任 根本知樹)



～11月の予定～

16日(土) 土曜課外

26日(火) 2学期期末考査(～29日)

29日(金) 自動車学校保護者説明会 30日(土) 全統センター試験プレテスト



野外活動



秋晴れの青空のもと、11月6日(水)3校時から7校時まで、旧相馬女子校グラウンドで野外活動をしました。少し風が強かったものの、さすが三年生、準備万端で火起こしもスムーズにいき、バーベキューやお好み焼き、焼きそばなど、各班それぞれに工夫を凝らして調理をし、楽しい時間を過ごしました。片付けも協力して行い、親睦も深まりました。

～私大一般入試について～

まず、受験する可能性のある学校の募集要項を早めに取り寄せよう。何日も試験が続く過密な日程を避け、会場の移動などを考慮して計画しよう。

【主な入試方式・受験方法】

- ①センター試験利用入試 (センター試験の得点結果を合否判定に用いる。)
- ②学外試験会場 (大学以外に、全国の主要都市に学外試験会場を設ける。
(例) 関東の大学の入試だが、仙台会場がある。コストダウンできる。)
- ③全学部日程入試 (全学部が同じ日に共通の問題を使って一斉に試験を行う。)
- ④試験自由選択制 (連続する試験日の中から都合の良い日を選んで受験。)
- ⑤得意科目重視型入試 (2～3科目を受験して最高得点の1科目で合否判定したり高得点科目の配点比率を高くしたりする。)
- ⑥英語外部検定利用入試 (外国語試験の免除、級に応じて得点換算または加点等。)
- ⑦学内併願 (同じ大学の異なる学部・学科を併願、同一学部・学科を異なる入試方式で併願。)